

5月27日 友ヶ島灯台の一般公開を実施しました。



友ヶ島灯台は明治5年に建てられた、現存する日本の灯台のなかでも6番目に古い灯台です。

平成21年に近代化産業遺産、平成27年に登録有形文化財に登録され、今も現役として動いています。

今回、お配りした参観証です！

表

裏



シリアル番号 『118番』は貴方を救うラッキーナンバーです

友ヶ島灯台一般公開にあわせて、毎回違うデザインの参観証を和歌山海上保安部職員が作っています。シリアル番号が記された世界に1つだけの参観証です。

一般公開は和歌山市観光課の方々と協力して実施しました。



制服の試着、海上保安庁のマスコットキャラクター「うみまる」との記念撮影を楽しんでいただきました。



海で必須アイテムとなるライフジャケット、救命浮環について展示しました。

**海のもしもは「118番」**

**118番は海上における事件・事故の緊急通報用電話番号です。**

昔の灯台のレンズを点灯しました。



灯台の中は、友ヶ島灯台で使用されていた初代レンズ（第三等大型不動レンズ）、市江崎灯台で使用されていたレンズ（第四等閃光レンズ）等の昔のめずらしい品を展示しました。

今回の一般公開では過去最大の **544** 名の方が来場しました。  
次回は、10月下旬から11月に一般公開が予定しています。